

特集
桶・樽のモノ語り

水を始めとする液体を貯蔵、あるいは運ぶために使われてきた桶と樽。桶とは桶側・箍・底板からなる木製の容器のことであり、樽はその桶に蓋を付けて密閉できるようにしたものだ。

江戸期の日本は世界でも有数の桶と樽の生産地であり、昭和初期まで人々の暮らしのみならず産業や経済を支えていたのは桶と樽だ。戦後桶と樽はあまり使われなくなったが、今でも桶や樽にこだわる人は存在する。

持続可能性が求められる現代において、今なお使いつづけられる桶と樽の価値とはいったい何なのか。大型の貯水・貯蔵装置の視点から考えたい。

目次

巻頭エッセイ

- 2 ひとしづく 美しい船 樋口直哉

特集 桶・樽のモノ語り

- 6 概論 江戸時代の日本を支えた桶と樽 小泉和子
- 10 木桶 しょうゆ蔵の宝を引き継ぐ木桶たち
- 14 洋樽 薫り高きウイスキーを熟成する日本の樽
- 18 配水塔・配水池 安定した水供給を支える現代の巨大水桶
- 22 受水槽 米国生まれの木製水槽が生き残る理由
- 26 エネルギー 現代の容器と熱エネルギー——廃棄物の有効活用を考える 藤井 実
- 28 風呂桶 体になじむ木の風呂桶 中村好文
- 29 文化をつくる 桶と樽に見る、人の営みと時間軸 編集部

連載

- 30 水の文化書誌 53 アメリカを創りだしたミシシッピ川の偉大さ 古賀邦雄
- 32 魅力づくりの教え 14 十勝を食糧王国に変えた開拓群像 北海道 十勝 中庭光彦
- 36 食の風土記 14 湧き水が育んだおやつ かんざらし 長崎県島原市
- 38 城下町と水の聖地 島原城下町を「水の聖地」から読み解く 高村雅彦
- 45 Go! Go! 109 水系 18 本州最北端の暮らしを養う岩木川 坂本貴啓
- 50 センター活動報告
- 51 編集後記／ご案内 (敬称略)

木桶がひしめくしょうゆのちろみ蔵。この蔵独特の生態系をつくるのに木桶の果たす役目は大きい (香川県・小豆島のヤマロク醤油にて)